

県議会 2月定例会

一般質問(3月1日)

I 「長野県総合5か年計画」について

次期総合計画への反映について

Q: 現行計画(25~29年度)の成果を、次期計画(30~34年度)にどう生かしていくのか?
 知事: これまでの取り組みの成果を振り返りながら次に進める。深掘りするテーマや新たな方向に展開していくものもあり、これまでのプランを横に置いて、次の計画の策定に取り組む。

次期総合計画策定への県民参加について

Q: 次期計画の策定に当たり、県民参加のあり方や県民意見を計画へ反映する方策は?
 知事: 県民とともに策定し、実行する計画にする。私や副知事をはじめ全職員が県民・企業・



一般質問に立つ酒井議員

総合計画の「達成目標」について

・「達成目標」は、県民が共有しオール信州で目指すべき指標として、位置づけることが適当である。

「達成目標」の位置づけ

企画振興部長: 次期計画では各施策の現状や到達点を把握するため、県民生活の実態を表せるような指標を検討する。

次期計画における「伊那谷が目指す方向性」について

・伊那谷の皆さんは、いわゆる「南北格差」の是正を強く求めている。

Q: リニアの時代を見据えた伊那谷の目指す方向性について、どのように考えているのか?
 知事: リニア中央新幹線の開通を契機に、大きく変貌する地域。グローバルな視点で地域のあり方を考えていく。広域観光や産業振興についても新たな視点で考えていく。三遠南信自動車道が開通すれば、リニアとの相乗効果が他地域との連携がさらに促進される。伊那谷地域の発展については次期計画の中で大きな方向付けを行う。



II 緊急輸送路「国道361号」の防災対策について

・本年1月8日に、伊那市高遠町地籍の国道361号の斜面にある岩盤から岩が剥がれ落ち、道路をふさぐという事故が発生した。
 ・事故発生後、道路は全面通行止となり、応急対応工事が施工された。2月21日全面通行止が解除され、現在は片側交互通行の状態となっている。



崩落直後の国道361号現場

・全面通行止により、高遠町の既存商店街の経営に大きな影響が出ている。
 Q: 今回の崩落箇所を含む一帯について、斜面の状況を徹底的に調査する必要があるが今後の対応は?

建設部長: 今回の崩落を受けて、周辺斜面の現地を調査した。調査結果を踏まえ、緊急にモルタル吹付や落石防護柵の設置などを実施しているほか、今後斜面

全体の恒久的な安全対策について早急に検討・実施する。
 Q: 一帯の斜面の抜本的な防災対策を講じて、道路の恒久的な安全性確保のため、トンネルの開削等も考えられるがどうか?
 建設部長: 巨石の崩落防止対策や落石防護対策等について、学識経験者の意見を聞きながら十分な検討をしていく。

トンネルによる対策は、非常に大規模な事業になるため早期の実現は困難。道路利用者の安全安心の確保を出来るだけ早期に図るため、平成29年度から現道の防災対策に重点的に着手していく。

Q: 4月には高遠城址公園へ大勢の花見客が訪れるため、交通規制を解除することが求められるが、いつ解除されるかなど具体的な見通しは?
 建設部長: 現在は崩落部東側斜面の落石対策を3月末の完成を目標に進めている。これらの工事完成後に交通規制を解除。高遠城址公園の桜まつり開催までには確実に開通できるように取り組む。

体的な見直しは?
 建設部長: 現在は崩落部東側斜面の落石対策を3月末の完成を目標に進めている。これらの工事完成後に交通規制を解除。高遠城址公園の桜まつり開催までには確実に開通できるように取り組む。

◎子どもの貧困を県が調査◎
 昨年9月の一般質問で、「県は子どもの貧困の状況を調査すべき」と提案しましたが、県ではこれを受けて平成29年度の予算に必要経費を計上しました。

常任委員会



副委員長として出席し、質問や提案を行う酒井議員

建設部関係 (3月9日)

●リニア関連道路の整備について
 Q: 県では新たな総合計画(30~34年度)を策定するが、リニア関連道路については計画の中で、明確に位置づけられなければならないが、どうか?
 A: 計画の中で、明確に位置づけをする。

危機管理部関係 (3月10日)

●県消防防災ヘリコプターについて
 ・3月5日県の消防防災ヘリコプターが、救助訓練中に山中で墜落事故を起こし、尊い9名の命を失った。地域では防災ヘリのこれまでの活動を高く評価しており、なくてはならないものであり、今後早期に対応策を決めなければならない。
 Q: このヘリは運行開始から20年を経過するが、更新の時期が来ていたのではないか?
 A: 通常飛行時間が5千時間を超えると、更新を検討する時期と言われている。このヘリは5千時間を超えていたが、機器の状態は良好であったため、もう少し使えたと判断していた。
 ※富山県では、長野県と同時期に導入したヘリを更新することを決めました(3月13日に表明)。

これまで危機管理・建設委員会に所属していましたが、3月16日より「文教・企業委員会」へ所属替えになりました。

酒井茂ブログ随時更新中!
 公式サイト: <http://shigeru-sakai.com/>
 みなさまのご提言やご要望をお寄せください。
 酒井茂
 酒井茂事務所
 〒399-4432 伊那市東春近原新田8243
 TEL/FAX.0265-73-5606 E-mail: info@shigeru-sakai.com